

社会貢献100万円倶楽部



中小企業同士の
つながりを
強化するハブ



中小企業の
ESG、SDGsへの
取り組みを促進



民間同士が助け合う
“共助”の仕組みを
一緒に構築

私たちは、「みんながみんなを支える社会」の実現に向け、わが国における寄付文化の醸成を目指して活動しております。

昨今、欧米では環境問題や人権問題に取り組む企業に、投資家が魅力を感じるようになっていきました。これからの時代、日本においても社会貢献への意識が高い企業がより注目される時代となるように感じます。

日本の屋台骨となって活躍してきた中小企業の役割も、ビジネスだけでなく、社会貢献という形で大きな存在になる事と確信しています。今回、皆様と一緒に取り組むことにより、社会課題を行政または大企業に任せきりにするのではなく、「共助」によって日本をもっと強くしていくことができるのではないのでしょうか。また、日本財団は、説明と透明性の責任を果たすため、間接経費を一切いただきず、ご寄付を100%ご希望の支援先へ届けています。

「みんながみんなを支える社会」の実現に向け、企業の皆様のご協力をいただけますと幸甚に存じます。

公益財団法人日本財団会長

笹川陽平



「公助」から「共助」の時代へ。 日本の未来を作っていく仲間を 求めています。

日本の近代化は、中小企業の皆さんの活躍なくしてはあり得ませんでした。日夜、会社経営の全責任を負って懸命に努力されている姿こそ、日本の存在そのものと言っても過言ではありません。心ある中小企業の皆さんから「日本の将来を考えると、世界一の財政赤字、多様化する社会問題など、国家だけでは問題解決は出来ません。私たちも社会貢献活動に参加して社会に恩返しをしたいのです」との声に押されて、社会貢献100万円倶楽部を創設しました。日本財団は、明るい未来を創るため、皆様と共に汗を流して活動して参ります。皆さんの参加を熟望しております。